お問い合わせ先について

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記までお知らせください。

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  —型名
  —ご相談内容：できるだけ詳しく
  —お買い上げ年月日

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間　：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

eco info　この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

* 2 5 8 7 0 7 3 0 2 * (1)

Printed in Malaysia

SONY

2-587-073-**02**(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN　Hi-MD AUDIO　Mini Disc　MDLP

MZ-EH930

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

7～11ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

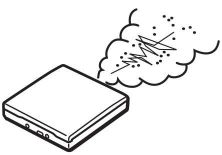
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ 電池を抜く

❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


接触禁止


ぬれ手禁止


分解禁止

行為を指示する記号


強制

- “ウォークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。 WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。
- Hi-MD、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。

本機でできること

本機では、従来のMD機器で録音したディスクに加えて、Hi-MD機器で録音したディスクを再生して楽しむことができます。

Hi-MDとは

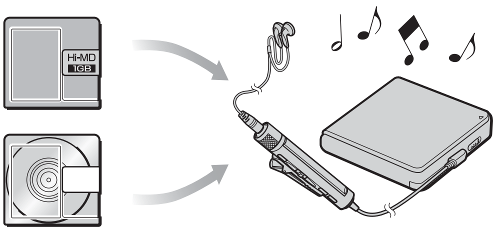
従来のMDフォーマットが進化した新しいMDのフォーマットです。

お使いいただけるディスクについて

本機では、次のディスクをお使いいただけます。

Hi-MD規格専用
1GBディスク

従来の60/74/80分
ディスク*



* 録音機器側の設定によって、Hi-MDモードで録音されたディスクの場合とMDモードで録音されたディスクの場合があります。

ご注意

本機は再生専用機です。再生専用ディスクや録音済みのディスクをお使いください。本機を使用してディスクに音楽を録音したりデータを記録したりすることはできません。

目次

基本編

応用編

困ったときは・Q&A

困ったときは

MD知っ得 Q&A

⚠警告


火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

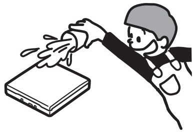
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

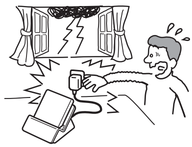
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

指定以外の充電スタンド、ACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。


禁止

内部をむやみに開けない

本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。


分解禁止

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない

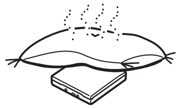
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

火のそばや炎天下などで充電・放置しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

禁止

充電スタンドの上に金属を置かない

充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

禁止

金属類と一緒に本体を携帯・保管しない

コイン、キー 、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本機では、下記の電池が使えます。
電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

充電式電池
ニッケル水素
（Ni-MH）

乾電池
アルカリ

⚠危険 **充電式電池、乾電池が液漏れしたときは**

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険 **充電式電池について**

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠注意　乾電池について

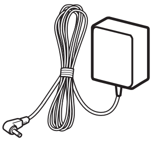
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

お願い

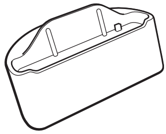
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

付属品を確かめる

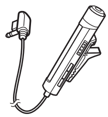
●ACパワーアダプター



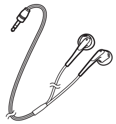
●充電スタンド



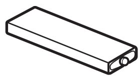
●リモコン



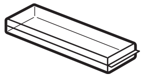
●ヘッドホン



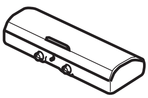
●充電式ニッケル水素電池
NH-14WM (A)



●充電池ケース



● 乾電池ケース
（DC IN ジャックなし）



●キャリングポーチ

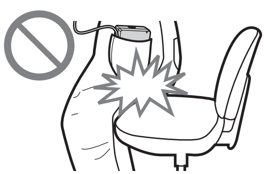


●MZ-EH930 取扱説明書
●保証書
●ソニーご相談窓口のご案内

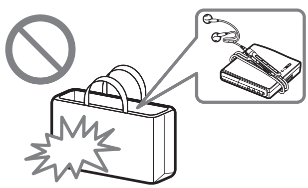
ご注意

本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

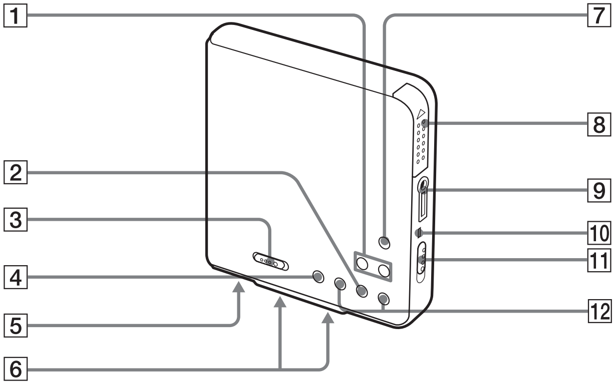


- 本体にリモコン／ヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。



各部のなまえ

本体



1 VOL(ボリューム) +*、−ボタン

2 ►II(再生/一時停止)*ボタン

3 HOLD(ホールド)スイッチ
矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。

4 ■(停止)ボタン

5 充電用端子

6 乾電池ケース用端子

7 GROUP(グループ)ボタン

8 充電式電池入れ

9 ∩(ヘッドホン)ジャック

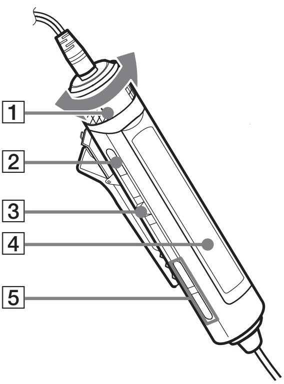
10 CHG(チャージ)(充電)/OPR(オペレーション)(動作)ランプ

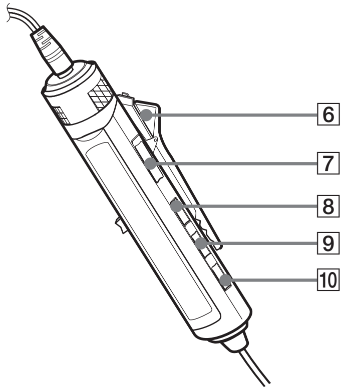
11 OPEN(オープン)つまみ

12 I◄◄、►►I(早戻し/早送り)ボタン

* 凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

リモコン





1 VOL（ボリューム）（音量）+、−つまみ

2 ■（停止）ボタン

3 ジョグレバー

（⏮・►II/ENT（エンター）・⏭）

操作	機能
⏮側にずらす	頭出し／早戻し
►II/ENTを押す	再生／一時停止／決定
⏭側にずらす	頭出し／早送り

4 表示窓

5 🗀（グループ）+、−ボタン

6 クリップ

7 HOLD（ホールド）スイッチ
矢印の方向にずらして黄色いマークを表示させると、リモコンの操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。

8 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン

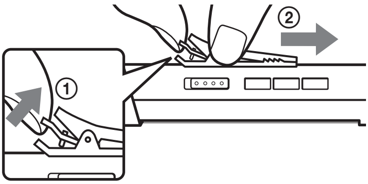
9 P MODE（プレイ モード）/⮌（リピート）ボタン

10 SOUND（サウンド）ボタン

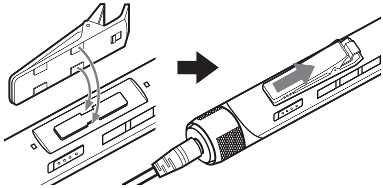
リモコンクリップの使いかた

クリップをはずして逆向きに取り付けることもできます。

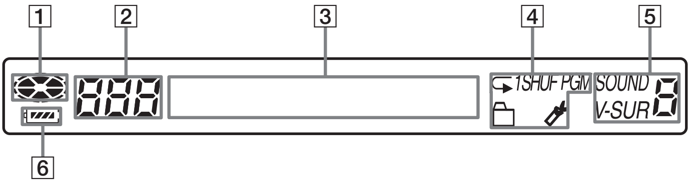
はずすには



逆向きにつけるには



表示窓（リモコン）



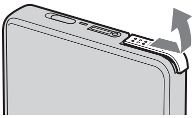
1 ディスク表示
2 曲番表示部
3 文字情報表示部
4 再生状態表示
5 サウンド表示
6 電池残量表示

準備する

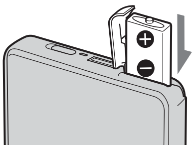
お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。

1 充電式電池を入れる

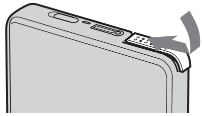
❶ **充電池入れのふたを矢印の方向へ押しながらずらす。**



❷ **充電式電池を入れる。**
⊖側を奥にして入れてください。

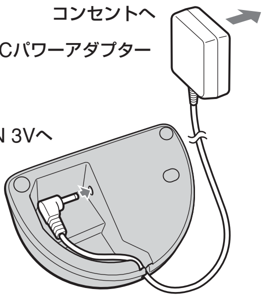


❸ **ふたを閉める。**



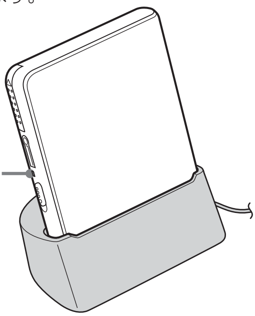
2 充電する

❶ **充電スタンドとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ。**



アダプターコードを上図のようにフックにとめてください。

❷ **本体を充電スタンドにのせる。**
充電が始まると、CHG/OPRランプが点灯します。



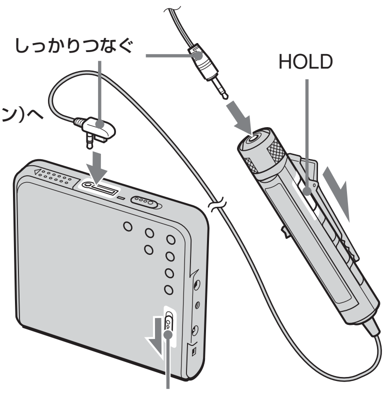
本体を上から軽く押して確実にスタンドに乗っていることを確認してください。
充電が終わったら、本体を充電スタンドからはずしてください。

- 使い切った状態から充電を始めると、約3時間半でCHG/OPRランプが消えます。CHG/OPRランプが消えた時点でお使いになれます。
- 充電中、再生などの操作をすると、充電が停止します。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

❶ リモコンを本体につなぐ。

❷ HOLDつまみをずらして、ホールドを解除する。



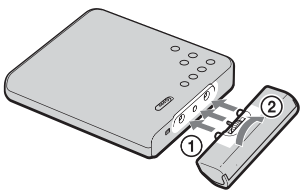
ご注意

本機の出力を外部音響機器（アンプ、アクティブスピーカーなど）に接続する場合には、リモコンをはずし、市販のオーディオ接続コードを （ヘッドホン）ジャックに接続してお使いください。

アルカリ乾電池と一緒に使って、長時間使用するときは

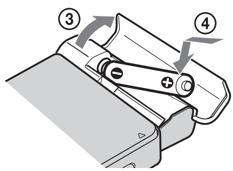
1 乾電池ケースを本体に取り付ける。

本体裏面



2 ソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れる。

必ず⊖側から入れてください。



ご注意

乾電池でお使いになるときは、必ずアルカリ乾電池を使ってください。それ以外の乾電池では、電池の持続時間が短くなったり、併用する充電式電池の性能が損なわれる場合があります。

ご注意

- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、充電式電池の持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分に充電されるようになります。
- 充電にかかる時間は、周囲の温度によって異なります。(+5℃～+35℃内の温度の場所で充電してください。)
- 長時間お使いになるときは、家庭用電源(コンセント)でお使いになることをおすすめします。

充電式電池の充電時期・乾電池の取り換え時期は

ご使用中、リモコンの表示窓の電池残量表示で、または本体のCHG/OPRランプ表示でお知らせします。

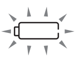
リモコンの表示部


電池残量が少なくなっています。

↓


電池が消耗しています。

↓


残量がありません。「LOW BATT」が点滅し、電源が切れます。

本体のCHG/OPRランプ表示

LED点灯　電池残量は充分です。

↓

LED遅い点滅　電池残量が少なくなってます。

↓

LED速い点滅　電池残量がありません。しばらくするとLEDが消灯し、電源が切れます。

電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況および環境により増減することがあります。

ご注意

- 充分に充電されていない充電式電池を入れても、残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量(充電時間)が少なければ、持続時間は短くなります。
- 早戻し／早送り時や極端に温度が低い場所で使用している時は、残量が多めに、または少なめに表示されることがあります。

電池の持続時間

Hi-MDモード(Hi-MD規格専用1GBディスク)の場合　(JEITA[1])

再生状態／電池の種類	リニアPCMステレオ	Hi-SPステレオ	Hi-LPステレオ
充電式電池[2]	約12時間	約21.5時間	約25時間
アルカリ乾電池[3]	約15.5時間	約25.5時間	約31時間
充電式電池＋アルカリ乾電池	約31時間	約53.5時間	約65時間

Hi-MDモード(60/74/80分ディスク)の場合　(JEITA[1])

再生状態／電池の種類	リニアPCMステレオ	Hi-SPステレオ	Hi-LPステレオ
充電式電池[2]	約9時間	約18.5時間	約24.5時間
アルカリ乾電池[3]	約12時間	約28時間	約33.5時間
充電式電池＋アルカリ乾電池	約23時間	約50時間	約62.5時間

MDモードの場合　(JEITA[1])

再生状態／電池の種類	SPステレオ	LP2ステレオ	LP4ステレオ
充電式電池[2]	約20時間	約25時間	約27.5時間
アルカリ乾電池[3]	約29.5時間	約36.5時間	約41時間
充電式電池＋アルカリ乾電池	約53.5時間	約60.5時間	約70.5時間

[1] JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
[2] 充電式ニッケル水素電池NH-14WM(A)
[3] 日本製ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

ご注意

充電式電池を交換するときは、必ず本機を停止してから行ってください。

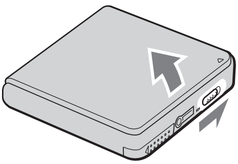
コンセント(家庭用電源)につないで使う

ACパワーアダプターを充電スタンドにつなぎ、そこに本体をのせると、充電式電池なしでも使うことができます。

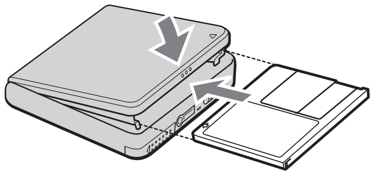
再生する

1 録音済みのディスクを入れる

❶ **OPENつまみをずらす。**
ふたが開きます。



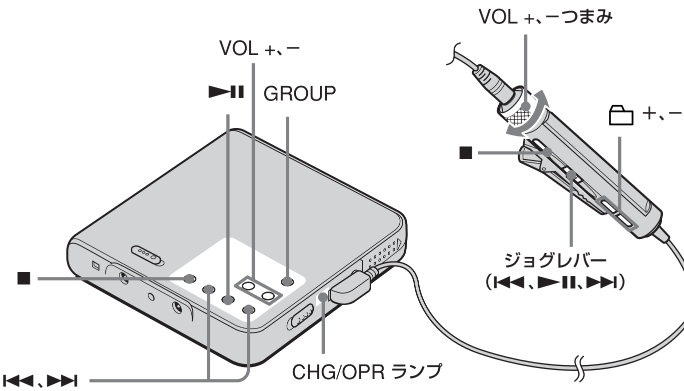
❷ **ディスクのラベル面を上にし、矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**



2 聞く

❶ **►IIを押す。リモコンではジョグレバーを押す（►II）。**
操作すると「ピ」と確認音がします。

❷ **VOL＋、－を押して、音量を調節する。リモコンではVOL＋、－つまみを回して、音量を調節する。**
リモコンの表示窓で音量を確認できます。



止めるには、■を押す。
操作すると「ピー」と確認音がします。次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。
停止してから約10秒後に自動的に電源が切れます。
本体に充電式電池を入れてACパワーアダプターで使っているときには、充電完了後に電源が切れます。

こんなときは	本体操作	リモコン操作
止める	■を押す。	■を押す。
一時停止する	►IIを押す。 もう一度押すと解除されます。	ジョグレバーを押す（►II）。 もう一度押すと解除されます。
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	I◄◄を押す。またはさらに戻したい曲数だけI◄◄を押す。	ジョグレバーをI◄◄側にずらす。またはさらに戻したい曲数だけI◄◄側にずらす。
次の曲を頭出しする	►►Iを押す。	ジョグレバーを►►I側にずらす。
再生しながら早戻し／早送りする	I◄◄または►►Iを押したままにする。	ジョグレバーをI◄◄または►►I側にずらしたままにする。
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す（タイムサーチ）	一時停止中、I◄◄または►►Iを押したままにする。	一時停止中、ジョグレバーをI◄◄または►►I側にずらしたままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す（インデックスサーチ）	停止中、I◄◄または►►Iを押したままにする。	停止中、ジョグレバーをI◄◄または►►I側にずらしたままにする。
グループの頭出しをする[1]（グループスキップ）	停止中、GROUPを押してからI◄◄または►►Iを押す[2]。	🗀 ＋または–を押す。
ディスクの最初の曲から再生を始める	停止中、►IIを2秒以上押したままにする。	停止中、ジョグレバーを2秒以上押したままにする（►II）。
ディスクを取り出す	■を押してからOPENつまみをずらしてふたを開ける[3]。	■を押してから本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける[3]。

[1] ディスクにグループが1つもない場合は、10曲ごとの頭出しになります。
[2] CHG/OPRランプが点灯している5秒間に操作してください。その間、リモコンの表示窓には🗀マークが点滅します。
[3] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

再生が始められないときは

ホールド（誤操作防止）スイッチを確認してください（13、14、17ページ）。

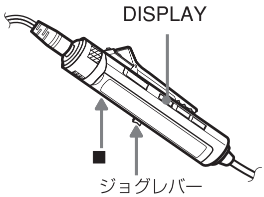
ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

Hi-MDモードで録音されたディスクの場合、最大で約12秒間音が途切れることがあります。

メニュー操作のしかた

本機では、便利な機能をメニューを使って操作します。メニューの操作は下記の手順で行います。
お買い上げ後、はじめてメニュー操作をすると、表示窓に「Menu Mode」（メニューモード）が点滅します。お使いになる前に、メニューモードを「Simple」（基本的な項目のみ表示）または「Advanced」（すべての項目を表示）に設定して、メニューに表示される項目を選んでください。詳しくは「表示されるメニュー項目を変更する」（29ページ）を参照して、メニューモードを設定してください。



1 **DISPLAYを2秒以上押す。**
メニュー画面になります。



2 **ジョグレバーをずらして、項目を選択する。**

3 **ジョグレバーを押して、項目を決定する。**

4 **表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。**
最後にジョグレバーを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには

■ボタンを押す。

途中で中止するときは

■ボタンを2秒以上押す。

メニュー一覧

設定できるメニュー項目は以下のとおりです。リモコンのみで設定できます。「Menu Mode」の設定が「Advanced」になっているときは、すべてのメニューが表示されます。「Simple」になっているときは、＊が付いているメニュー項目は表示されません。詳しくは、「表示されるメニュー項目を変更する」（29ページ）をご覧ください。

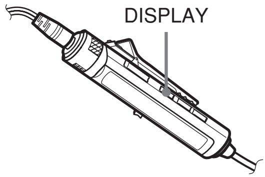
ご注意

表示される項目は、操作状況やディスクの設定により異なります。

第一階層	第二階層	機能	参照ページ
MainPlayMode	Normal	曲名やグループ名などのカテゴリーで曲を選ぶ	23
	Group		
	Artist		
	Album		
	Bookmark		
	Program		
Option	Menu Mode	メニューの表示項目を変更する	29
	AVLS*	ヘッドホンからの音もれを抑える	29
	Beep*	確認音の設定をする	30
	Backlight	リモコン表示窓のバックライトの設定をする	30
	Disc Memory*	ディスクの設定を記憶する	30
	Quick Mode*	すばやく再生を始める	31
	JP Character*	表示の漢字優先／漢字カナ交互の設定をする（MDモード時のみ）	32

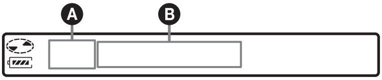
表示窓で情報を見る

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。



1 再生中にDISPLAYを繰り返し押す。

押すたびに、表示は次のように変わります。



それぞれのマークに続いて名前が表示されます。

：曲名
：ディスク名
：グループ名
：アーティスト名
：アルバム名

表示Ⓐ/Ⓑ

Ⓐ	Ⓑ
曲番	経過時間
曲番	• 曲名とアーティスト名（Hi-MD） • 曲名（MD）
ディスクの総曲数	ディスク名
グループ内の曲番[1)]	グループ名[1)]
グループ内の曲番[1)]	アルバム名[1)]（Hi-MD）
曲番	サウンドモード名[2)]
曲番	• コーデック 情報（Hi-MD）[2)] • トラックモード情報（MD）[2)]

1) グループに属していない曲を再生中は、ディスク内の曲番とディスク名が表示されます。
2) メニューモードが「Simple」に設定されているときは表示されません（29ページ）。

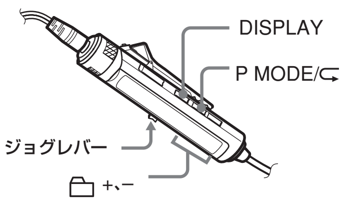
ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

再生モードを選ぶ

再生モードを選んでいろいろな方法で曲を聞くことができます。再生モードは、メイン再生モード、サブ再生モード、リピート再生の3つの組み合わせで設定します。

- メイン再生モード：再生したい曲やグループなどの単位を選ぶ。
- サブ再生モード：再生方法を選ぶ。
- リピート再生：リピート再生を設定する。



メイン再生モードを選んで曲を聞く

再生したい曲やグループなどの単位を選んで再生します。

表示	再生状態
Normal	通常の再生（ディスク全曲を1回再生）
Group	グループ再生（今再生しているグループのみを再生）
Artist*	アーティスト再生（お好みのアーティストの曲のみを再生）
Album*	アルバム再生（お好みのアルバムの曲のみを再生）
Bookmark	ブックマークトラック再生（ブックマーク（しおり）がついている曲のみを順番に再生）
Program	プログラム再生（聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生）

* Hi-MDモードの場合のみ表示されます。

通常のモードで曲を聞く（通常再生）

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをずらして「Main Play Mode」を選び、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをずらして「Normal」を選び、押して決定する。**
再生している曲から順にディスクの最後の曲までを再生します。

グループの曲を聞く（グループ再生）

グループの設定されているディスクをお使いください。

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをずらして「Main Play Mode」を選び、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをずらして「Group」を選び、押して決定する。**

4 **🗀 +、−を押してお好みのグループを選ぶ。**
選んだグループの最初の曲から最後の曲までを再生します。

💡

- 再生中に本体のGROUPを押してから、⏮または⏭を押すと、グループの頭出しをすることができます。
- グループに属さない曲がある場合は、「Group – –」と表示されます。

アーティストを選んで曲を聞く（アーティスト再生）（Hi-MDモードの場合のみ）

曲にアーティスト名がついていると、アーティスト名で曲を検索して聞くことができます。

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをずらして「Main Play Mode」を選び、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをずらして「Artist」を選び、押して決定する。**

4 **🗀 +、−を押してお好みのアーティストを選ぶ。**
選んだアーティストの最初に録音された曲から最後に録音された曲までを再生します。

💡

再生中に本体のGROUPを押してから、⏮または⏭を押すと、アーティストの頭出しをすることができます。

アルバムを選んで聞く（アルバム再生）（Hi-MDモードの場合のみ）

曲にアルバム名がついていると、アルバム名で曲を検索して聞くことができます。

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをずらして「Main Play Mode」を選び、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをずらして「Album」を選び、押して決定する。**

4 **□+、−を押してお好みのアルバムを選ぶ。**
選んだアルバムの最初に録音された曲から最後に録音された曲までを再生します。

再生中に本体のGROUPを押してから、|◀◀または▶▶|を押すと、アルバムの頭出しをすることができます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマークトラック再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1 **ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。**
ブックマークの1曲目が登録されます。



2 **手順1を繰り返してブックマークをつけていく。**

ブックマークした曲を再生するには

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをずらして「Main Play Mode」を選び、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをずらして「Bookmark」を選び、押して決定する。**
ブックマークされた一番小さい曲番から順にブックマークトラック再生が始まります。

4 **ジョグレバーをずらして再生したい曲を選ぶ。**

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

好きな順に曲やグループを並べかえて聞く（プログラム再生）

曲やグループを好きな順に並べかえて聞くことができます。

曲をプログラムする（トラックプログラム）

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをずらして「Main Play Mode」を選び、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをずらして「Program」を選び、押して決定する。**

4 **ジョグレバーをずらして「Track」を選び、押して決定する。**

次ページへつづく

5 **ジョグレバーをずらして曲を選び、押して決定する。**

6 **手順5を繰り返して曲をプログラムする。**
64曲までプログラムできます。

7 **選び終わったらジョグレバーを2秒以上押して決定する。**
設定が確定し、「PGM」が表示され、プログラムの1曲目から再生が始まります。

グループをプログラムする（グループプログラム）

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをずらして「Main Play Mode」を選び、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをずらして「Program」を選び、押して決定する。**

4 **ジョグレバーをずらして「Group」を選び、押して決定する。**

5 **ジョグレバーをずらしてグループを選び、押して決定する。**

6 **手順5を繰り返してグループをプログラムする。**
20個までプログラムできます。

7 **選び終わったら、ジョグレバーを2秒以上押して決定する。**
プログラムが確定し、「□」と「PGM」が表示され、プログラムの最初のグループの1曲目から再生が始まります。

- プログラム中にジョグレバーを押すと、それまでにプログラムした曲またはグループを確認できます。
- 操作の途中で、曲番またはグループ番号を「000」に、プログラム番号を「01」としてジョグレバーを押すと、プログラムがクリアされます。
- プログラムした曲またはグループを変更する場合は、変更したいプログラム順番を表示させてから、上記の手順5の操作でプログラムし直すことができます。
- プログラム設定中に■ボタンを押すと、そのときまでに設定したプログラムの内容は保存されずに、プログラム設定を開始する前の状態に戻ります。

サブ再生モードを選ぶ

メイン再生モードで選んだ曲を、いろいろな再生のしかたで聞くことができます。
例えば、メイン再生モードで「Group」を、サブ再生モードで「SHUF」を選ぶと、選んだグループの中の曲を順不同に再生することができます。

P MODE/↻を繰り返し押す。
押すたびに表示は次のように変わります。

表示	再生モード
（表示なし）	通常の再生（全曲を1回再生）
1	1曲再生（選んだ1曲のみ再生）
SHUF	シャッフル再生（メイン再生モードで選んだ曲を順不同に再生）

繰り返し聞く（リピート再生）

曲を繰り返し聞くことができます。

P MODE/⟲を2秒以上押す。
「⟲」が点灯します。

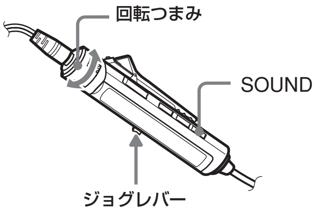
解除するには

P MODE/⟲を2秒以上押して「⟲」を消す。

好みの音にする
（バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ）

音の臨場感を変えたり、お好みの音質を選択・設定することができます。
次の2つの効果から1つ選べます。

- V-SUR（バーチャルサラウンド）：音の臨場感を変える。（4種類）
- 6 BAND EQUALIZER（6バンドイコライザ）：音質を変える。（6種類）

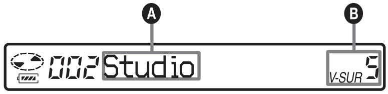


臨場感を変える（バーチャルサラウンド）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「V-SUR」を表示させる。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグレバーをずらしてサラウンドの種類を選ぶ。



ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
Studio	*V-SUR* S
Live	*V-SUR* L
Club	*V-SUR* C
Arena	*V-SUR* A

4 ジョグレバーを押して決定する。

設定を解除するときは

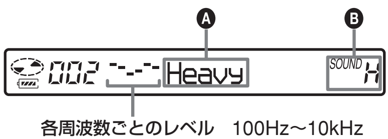
手順1でⒷに何も表示されていない状態を選ぶ。

音質を選ぶ（6バンドイコライザ）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SOUND」を表示させる。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグレバーをずらしてサウンドの種類を選ぶ。



ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

次ページへつづく

Ⓐ	Ⓑ
Heavy	*SOUND* H
Pops	*SOUND* P
Jazz	*SOUND* J
Unique	*SOUND* U
Custom1	*SOUND* 1
Custom2	*SOUND* 2

4 ジョグレバーを押して決定する。

設定を解除するときは

手順1でⒷに何も表示されていない状態を選ぶ。

好みの音質にする

「Custom1」と「Custom2」には、お好みの音質を記憶させることができます。

1 上記の手順1〜3を行い、「Custom1」または「Custom2」を表示させる。

2 ジョグレバーを押す。

3 ジョグレバーをずらして周波数を選ぶ。



周波数(100Hz)

周波数は次の6つから選べます。
左から順に100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

4 VOLつまみを繰り返し回してレベルを調節する。



レベル(+10dB)

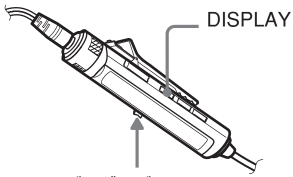
レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 手順3と4を繰り返す。

6 ジョグレバーを押して決定する。

表示されるメニュー項目を変更する(メニューモード)

表示されるメニュー項目を全部表示するように設定するか（「Advanced」)、基本的な項目のみを表示するか（「Simple」)、選ぶことができます。
表示されないメニュー項目については、「メニュー一覧」(22ページ)を参照してください。

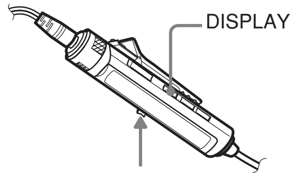


1 **メニュー操作で「Option」–「Menu Mode」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらして「Simple」または「Advanced」を選び、押して決定する。**

音もれを抑え耳にやさしい音にする(AVLS－オートボリュームリミッターシステム－快適音量)

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

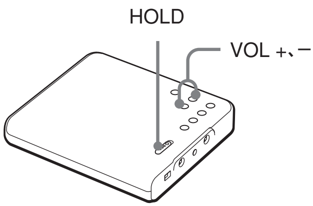


1 **メニュー操作で「Option」–「AVLS」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらして「AVLS On」を選び、押して決定する。**
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が点滅し、それ以上音量が上がらなくなります。

設定を解除するには
手順2で「AVLS Off」を選ぶ。

本体で操作する

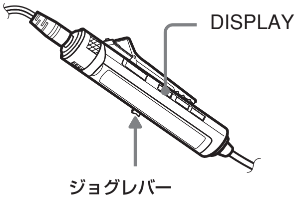


設定するには
再生中、HOLDスイッチを▶の方向にずらし、VOL – ボタンを押しながら、HOLDスイッチを▶と逆方向にずらします。

設定を解除するには
再生中、HOLDスイッチを▶の方向にずらし、VOL + ボタンを押しながら、HOLDスイッチを▶と逆方向にずらします。

確認音を消す

本体・リモコンの確認音を鳴らす／鳴らさないの設定をすることができます。



1 **メニュー操作で「Option」–「Beep」を選ぶ。**

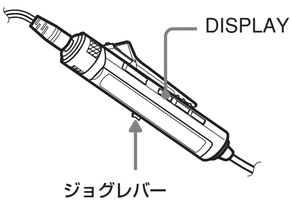
2 **ジョグレバーをずらして「Beep Off」を選び、押して決定する。**

設定を戻すには

手順2で「Beep On」を選ぶ。

表示窓のバックライトをつける／消す

リモコンの表示窓を常に点灯させる／点灯させないの設定をすることができます。



1 **停止中に、メニュー操作で「Option」–「Backlight」を選ぶ。**

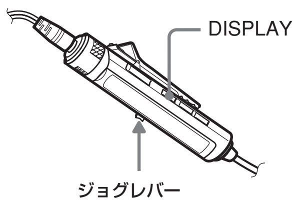
2 **ジョグレバーをずらしてお好みの設定を選び、押して決定する。**

表示	設定
オート点灯（Auto）	操作中は点灯。何もしないで数秒たつと消灯（お買い上げ時の設定）。
常時点灯（On）	動いているときは常に点灯。
常時消灯（Off）	常に消灯。

ディスクごとに設定を記憶する（ディスクメモリー）

本機は、お買い上げ時にはディスクの設定情報を自動的に登録するように設定されています。
この設定がされていると、ディスクを取り出すときに設定情報を自動的に登録し、一度登録したディスクを再度入れたときに、設定情報が自動的に呼び出されます。次の設定情報を登録できます。
- プログラムした内容
- ブックマークした曲
- 6バンドイコライザの「Custom1」「Custom2」

記憶する設定になっているかは、次の手順で確認することができます。



1 **ディスクを取り出し、ふたを閉めてから、メニュー操作で「Option」–「Disc Memory」を選ぶ。**
お買い上げ時の状態では「On」が表示され、記憶する設定になっています。
「On」が表示されていることを確認したら、■ボタンを2秒以上押して終了します。

2 **「On」が表示されていないときは、ジョグレバーをずらして「On」を選び、押して決定する。**

記憶させない設定にするには

手順2で「Off」を選ぶ。

登録を消すには

1 **登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。**

2 **上記の手順2で、「1MemoryErase」を選ぶ。**
ディスクの設定情報は登録から削除されます。

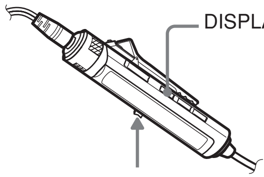
💡
ディスクメモリーが「On」になっているときは、ディスクメモリーに登録したディスクを再度入れたときに、「DISC MEMORY」が表示されます。

ご注意

- 最大でディスク64枚分を登録することができますが、64枚を越えると再生した時期が古いものから自動的に消去されます。登録できるディスク数は、ディスクに録音されている曲数によって異なります。ディスク1枚あたりの曲数が多くなると、登録できるディスク数は少なくなります。
- ディスクメモリーの登録を行ったことがないディスクで、登録の消去を行うと「No DiscMEM」と表示されます。

すばやく音を聞く（クイックモード）

本機は、お買い上げ時には再生ボタンを押したあとにすばやく再生音を聞くことができるように設定されています。
この設定になっているかは、次の手順で確認することができます。



1 **停止中または再生中に、メニュー操作で「Option」–「Quick Mode」を選ぶ。**
お買い上げ時の状態では「Quick On」が表示されます。
「Quick On」が表示されていることを確認したら、■ボタンを2秒以上押して終了します。

2 **「Quick On」が表示されていないときは、ジョグレバーをずらして「Quick On」を選び、押して決定する。**

長い間お使いにならないときは

手順2で「Quick Off」を選ぶ。
使用していないときの電池の消耗を抑えることができます。

ご注意

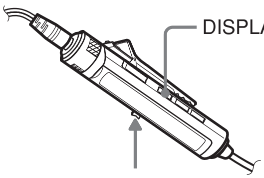
設定を「Quick On」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。電池を全て消耗すると、自動的に本体内部の電源が切れます。

タイトルの表示方法を切り替える

MDモードで録音されたディスクの場合のみ切り替えることができます。
Hi-MDモードで録音されたディスクの場合は、切り替えはできません。
MDモードで録音されたディスクの場合、表示方法は2種類あります。

- **漢字優先**：お買い上げの設定。通常はこちらにしておきます。
- **漢字カナ交互**：パソコンで文字入力時、全角エリアと半角エリアにそれぞれ違う情報（例：全角エリアに曲名、半角エリアにアーティスト名など）を登録した場合などに選びます。両方の情報が表示されます。

「漢字カナ交互」にするには、次の手順で切り替えてください。



1 **メニュー操作で「Option」–「JP Character」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらして「Kanji & Kana」を選び、押して決定する。**

設定を戻すには

手順2で「Kanji First」を選ぶ。

ご注意

英数字とスペースは、パソコンソフトでの文字入力時に全角にしていても、本機では全て半角で表示されます。

使用上のご注意

分解しないでください

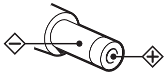
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプター（付属の充電スタンド専用）について

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  — 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  — 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  — 風呂場など湿気の多いところ。
  — 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  — ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。

温度上昇について

充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

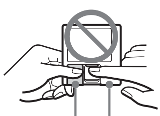
その他

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電には必ず、付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 充電は、+5℃～+35℃の場所で行ってください。
- 長い間お使いにならないときは、充電式電池を取り外して湿度の低い涼しい場所で保管してください。保管する際は、充電式電池の劣化を防ぐため、充電式電池を使い切った状態や100%充電した状態で保存しないでください。
- 充電中は、充電スタンドや本体が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、充電式電池の持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と交換してください。
- 長い間お使いにならないときはACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体を充電スタンドからはずしてください。

ディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  — **シャッターを手で開けない**
  無理に開けるとこわれます。



  — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**
  — **置き場所について**
  直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
  — **定期的にお手入れを**
  カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで、本機の操作はできません。

お手入れについて

表面が汚れたときは

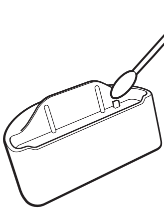
水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

端子のお手入れについて

定期的に各端子を綿棒ややわらかい布などできれいにしてください。



乾電池ケースについて

付属の乾電池ケースは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

再生読み取り方式
非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー
GaAIAsMQWダイオード、
λ=790nm

回転数
約350 rpm〜3,600 rpm(CLV)

エラー訂正方式
Hi-MD：
LDC (Long Distance Code)／
BIS (Burst Indicator Subcode)
MD：
ACIRC (Advanced Cross Interleave Reed Solomon Code)

サンプリング周波数
44.1kHz

コーディング
Hi-MD：
リニアPCM（44.1kHz/16bit）— PCM
ATRAC3plus (Adaptive TRansform Acoustic Coding 3 plus) — Hi-SP/Hi-LP
MD：
ATRAC
ATRAC3 — LP2/LP4

変調方式
Hi-MD：
1-7RLL (Run Length Limited)/
PRML (Partial Response Maximum Likelihood)
MD:
EFM (Eight to Fourteen Modulation)

周波数特性（ヘッドホン出力時）

20〜20,000 Hz±3 dB

出力端子

🎧：ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）

実用最大出力[1]

ヘッドホン：5 mW + 5 mW（16 Ω）

電源

充電式ニッケル水素電池
NH-14WM(A) 1.2 V, 1350 mAh (MIN) Ni-MH　1個
アルカリ乾電池（単3形）　1個
ACパワーアダプター DC 3V, AC 100〜240V, 50/60 Hz

動作温度

＋5℃〜+35℃

電池持続時間

「電池の持続時間」（18ページ）参照

本体寸法

約76.9 × 83.4 × 14.7 mm
（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）

最大外形寸法[1]

約77.9 × 83.6 × 15.4 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量

約76g（本体のみ）
約103g（充電式電池含む）

[1] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造年は、本体のふたを開けた内側に表示されています。

別売りアクセサリー

漢字表示対応MD・CDウォークマン専用スティックコントローラー　RM-MC35ELK
充電式ニッケル水素電池　NH-14WM
ステレオヘッドホン[2] MDR-EX51SP、MDR-EX71SL
アクティブスピーカーSRS-Z510/Z30など

[2] ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

下記の機種は、本機ではお使いいただけません。
ロータリーコマンダー RM-WMC1
MDラベルプリンター MZP-1
ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラー RPT-M1

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。（メッセージ一覧（41ページ）も合わせてご覧ください。）メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

↓

手順2　それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

充電について

症状	原因	対策
充電ができない、または充分に充電ができない。	充電式電池が正しく入れられていない。またはACパワーアダプターが正しくつながっていない。	充電式電池を正しく入れ直す。またはACパワーアダプターを正しくつなぐ。
	お買い上げ時や長い間使わなかった場合は、電池の特性により持続時間が短いことがある。	何回か充放電を繰り返すと、充分に充電されるようになります。
	本体と充電スタンドの接続がよくない。	本体を充電スタンドからはずし、もう一度しっかりと充電スタンドに乗せなおしてください。このとき、CHG/OPRランプが点灯することも確認してください。
	充電している場所の温度が低すぎる、または高すぎる（「SLOW CHG」または「CannotCHG」が表示される）。	充電は+5℃～+35℃の場所で行ってください。
	充電式電池が入っていない。	充電式電池を入れてください。
使っていなかったのに充電式電池が消耗してしまった。	「クイックモード」（「Quick Mode」）の設定が「Quick On」になっていた（31ページ）。	「クイックモード」（「Quick Mode」）の設定が「Quick On」の場合、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなります。充電が充分ではない状態でかつ、設定が「Quick On」になっていると、使わない間に充電式電池が消耗しまうことがあります。そのときは、もう一度充電してください。
充分に充電しても、通常の半分くらいの時間しか使えない。	電池の寿命かもしれません。	新しい充電式電池と交換してください。
充電中に本体や充電スタンドが熱くなる。	故障ではありません。	—

再生中

症状	原因	対策
通常の再生ができない。	リピート再生を指定している。	P MODE/↻ボタンを2秒以上押して、↻（リピート）表示を消してから再生を始めてください（27ページ）。
	再生モードを変えた。	メイン再生モード（24ページ）やサブ再生モード（26ページ）を、通常の再生に戻してから再生を始めてください（24ページ）。
ディスクの1曲目から再生しない。	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、リモコンではジョグレバー（►II•ENT）を、本体では►IIを、2秒以上押したままにしてください。
再生中に音がとぎれる。	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使ってください。
雑音が多い。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置いてください。
音が大きくならない。	AVLSが働いている。	AVLSの設定を解除してください（29ページ）。
ヘッドホンから音が出ない。	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	🎧ジャックにしっかり差し込んでください。 リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込んでください。
	プラグが汚れている。	ヘッドホンとリモコンのプラグ部分を乾いた布などで拭いてください。
I◄◄または►►Iを押すと前のグループや次のグループ（またはいくつか前の曲やいくつか次の曲）へ飛んでしまう。	グループスキップが働いている。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップが解除されます。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	システム上の制約です。再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、音がとぎれることがあります。	—

グループ機能中

症状	原因	対策
グループ機能が働かない。	グループ設定されていないディスクが入っている。	グループ設定されているディスクを入れてください。

その他

症状	原因	対策
表示窓に「Simple／Advanced」と表示されている。	お買い上げ後、はじめてメニュー操作をしようとした（リモコンのDISPLAYを2秒以上押した）。	メニューモードを設定してください（29ページ）。
表示されないメニュー項目がある。	メニューモードが「Simple」になっている。	メニューモードを「Advanced」に設定して、すべてのメニュー項目を表示させてください（29ページ）。
操作を受けつけない、または正しく動作しない。	充電式電池を充電していない。	充電してください。
	音量が小さくなっている。	音量を上げる。
	ディスクが入っていない。	録音済みのディスクを入れてください。
	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（13、14、17ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてください。
	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おいてください。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 3Vジャックとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池が消耗している（「LOW BATT」表示が点滅または何も表示されない）。	充電する（16ページ）。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおしてください。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえてください。
	内部システムが誤動作している。使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおしてください。 手順1　すべての電源をはずす。 手順2　約30秒間そのままにする。 手順3　電源をつなぐ。
液晶表示が通常表示と違う。	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押してください。

メッセージ一覧

リモコンの表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
AVLS	AVLSの設定が「AVLS On」になっているので、これ以上音量をあげられない（29ページ）。	AVLSの設定を「AVLS Off」にしてください。
BLANKDISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
BUSY	ディスクの情報を読んでいる。	しばらく待ってください。まれに1分ほどかかる場合があります。
Can'tPLAY	再生できる音楽データが入っていない。音楽データまたは管理ファイルが壊れている。	他のディスクと取りかえてください。
CannotCHG	指定温度ではないところで充電しようとした。	指定温度の範囲内（+5℃〜+35℃）で充電してください。
HI DC IN	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターを使っていない）。	指定のACパワーアダプターを使ってください。
End	再生中またはジョグレバーを▶▶I側へずらしているとき（本体では▶▶Iを押しているとき）に、ディスクの最後まで到達した。	—
ERROR	内部システムが誤動作している。	40ページ表中の手順1〜3を行ってください。
ERROR XX	内部システムが誤動作している。呼び出しに失敗した。	40ページ表中の手順1〜3を行ってください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、お客様ご相談センターへご相談ください。
FormatERR	本機が対応していないフォーマットのディスクが挿入された。	MDまたはHi-MDフォーマットのディスクを入れてください。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（13、14、17ページ）。
LOW BATT	電池が消耗した。	充電池を充電し直してください（16ページ）。
NO MARK	ブックマークがついていないディスクでブックマークトラック再生をしようとした。	ブックマークをつけてから（25ページ）操作してください。ブックマークがついているディスクで操作してください。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。

表示	意味	対策
NoDiscMEM	ディスクメモリーを登録していないディスクでディスクメモリーを削除しようとした。	—
NO NAME	アーティスト名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアーティスト再生にした。	—
NoOPERATE	リモコンでプログラムの設定をしているときに、グループスキップしようとした。	—
NO TITLE	アルバム名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアルバム再生にした。	—
NO TRACK	何も録音されていないディスクを再生しようとした。	録音済みのディスクを入れてください。
READ ERR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直してください。
SLOW CHG	指定温度ではないところで充電しようとした。	指定温度の範囲内（+5℃～+35℃）で充電してください。
TOC ERR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクと取りかえてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときは
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

知っておくと便利です

ここではポータブルMDプレーヤーをお使いになる際に知っておくと便利な情報を、Q&A形式で簡単に説明します。

Q1: Hi-MDとは？

A1: Hi-MDとは、新しいミニディスクのフォーマットです。
従来のミニディスクから、ディスクの記録方式を変え、更に長時間の録音が可能になりました。また、パソコンの外部機器として、音楽データ以外のデータ（例えば、テキストデータや画像データ）もミニディスクに記憶することができるようになりました。*
*本機は再生専用機です。本機を使用して録音やデータをディスクに記憶することはできません。

Q2: ATRAC3plusとは？

A2: ATRAC3plusとは、ATRAC3を更に発展させたオーディオ圧縮技術です。
これまでのATRAC3（本機のLP2/LP4ステレオモード）の圧縮率が、CDの1/10だったのに対し、ATRAC3plus（本機のHi-SP/Hi-LPステレオモード）はCDをベースに比較すると、1/20という高い圧縮率かつ高音質を実現しています。

Q3: Hi-MDモードとMDモードとは？

A3: 本機は「Hi-MDモード」と「MDモード」の2つのモードを持ち、挿入されたディスクのモードを自動的に判別します。

Q4: リニアPCMとは？

A4: デジタル圧縮しない音声記録方式です。この方式で録音すると、CDと同じ音質を楽しむことができます。

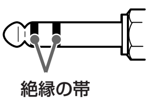
Q5: ATRAC/ATRAC3用DSP TYPE-Sとは？

A5: ソニーのハイスペックMDデッキに搭載されているATRAC用DSP TYPE-Sを採用。
MDLPモードだけでなく、Hi-MDモードのATRAC3の再生時にも高音質で楽しめます。
また、このDSPにはATRAC用DSP TYPE-Rの演算能力も継承されていますので、TYPE-SまたはTYPE-R対応機器でSPステレオ録音された曲の再生にも優れています。

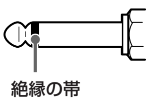
Q6: ステレオプラグとモノラルプラグの見分けかたは？

A6:

ステレオプラグ:
絶縁の帯が 2 つ



モノラルプラグ:
絶縁の帯が1つ



索引